

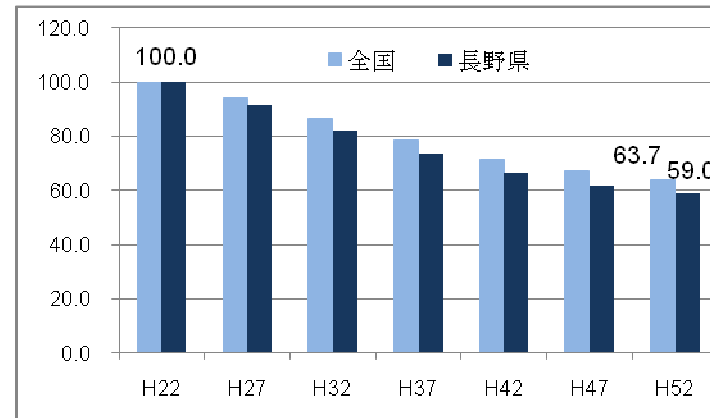
市町村と県がともに取り組む長野県教育の振興

長野県教育委員会

社会情勢の変化

- ◆ 急速な児童生徒減少見込と学校規模の縮小
- ◆ グローバル化・情報化等社会変革への対応
- ◆ 教育に対するニーズの多様化と財政の逼迫
- ◆ 若者を取り巻く厳しい環境 など

【14才以下人口の将来推計（H22を100とした場合）】



(国立社会保障・人口問題研究所 (H24.1月推計))

国の動向

「教育委員会制度等の在り方について」
教育再生実行会議 第二次提言 (H25.4.15)

- 地方教育行政の権限と責任を明確にし、全国どこでも責任ある体制を築く。
 - ・ 首長が任免する教育長が、自治体の教育行政の責任者となるよう現行制度を見直す。
 - ・ 教育委員会は、教育長に対し大きな方向性を示すとともに、教育事務の執行状況をチェックする。など
- 責任ある教育行政が行われるよう、国、都道府県、市町村の役割を明確にし、権限の見直しを行う。
 - ・ 自治体の教育行政上の法令違反・権利侵害に対し、最終的には、国が是正・改善の指示等を行えるようにする。など
- 地方教育行政や学校運営に対し、地域住民の意向を適切に反映する。
 - ・ 国・自治体は、地域とともにある学校づくりを進めるため、コミュニティ・スクールや学校支援地域本部等の設置に努める。など

「教員の資質向上・教育制度あり方検討会議」

【提言 (H25.3.19)】

第1部 不祥事再発防止に関する提言

- 教員の資質向上
- 問題を起こした教職員への対応
 - ・ 市町村教育委員会内や県立学校に外部関係者を含む委員会を設置し、外部視点を踏まえた不祥事防止対策を実施することが必要。
- 開かれた学校運営体制
 - ・ 地域住民や保護者が学校について理解を深められるよう、教職員と率直に意見を交わし、ともに児童生徒の将来のあるべき姿を語る場の設置が必要。
 - ・ 教育委員は常に問題意識を持って議論し、不祥事に向き合うとともに、教育委員会組織全体の体質改善と機能的な体制づくりが不可欠。
- 危機管理対応のあり方

第2部 採用や人事に関する提言

- 教員の採用・人事
 - ・ 人事異動とは、その地域の学校で、地域の子どもたちの教育を行うことであることを教員が再確認する。
- 人事権
 - ・ 県教育委員会から市町村教育委員会への人事権の移譲については、政府の教育制度改革の行方も注視しつつ、各市町村の意向を把握するとともに、先進地域での実情も踏まえ、広域ブロック化を含め全県の視野で検討していくこと。
 - ・ 学校長の公募及び責任の範囲については、県の総合5カ年計画に示されたコミュニティスクールの推進等との整合を図りつつ、市町村とともに研究すること。

第3部 教職員や学校の評価に関する提言

- 教員の業績・能力評価、学校評価
 - ・ 管理職評価のための教育長、学校関係者、外部有識者等で構成される委員会の設置と活用を検討すること。

第4部 教員の研修に関する提言

- 長野県教育の理念等を踏まえた教員研修体系の構築
 - ・ 県と市町村とが連携して、地域の課題に応じた教員研修を実施する必要がある。また、市町村任用職員についても考慮したい。
- 校外研修の充実 ○ 校内研修の活性化
- 管理職、教務主任等の役割に応じた研修
- 非違行為を行った教職員に対する研修
- 学び続ける教員のキャリアアップを図るための支援

第5部 今後の行動計画とモニタリング

- 行動計画の策定・実施

「しあわせ信州創造プラン」(県総合5カ年計画) 主要プロジェクト

「教育再生プロジェクト」
～良き人生を築き社会に貢献できる人材の育成～

- アクション1 学力・体力の向上と多様な学習機会の提供
- アクション2 地域に開かれた信頼される学校づくり
- アクション3 農林業体験など体験活動の推進
- アクション4 情報活用能力、英語コミュニケーション能力の向上
- アクション5 高等教育全体の振興
- アクション6 生涯にわたる学びの環境整備

第2次長野県教育振興基本計画

～一人ひとりの学びが生きる教育立県“信州”の創造～

【計画の基本目標(重視する視点)】

- <自立> 知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間の育成
- <共生> 多様性を認め、共に生きる社会の実現
- <共育> 社会全体で共に育み共に学ぶ教育の推進

【特に重点的に取り組む施策】

- 学力・体力向上
 - ・ 小・中学校の30人規模学級編制等を維持
 - ・ 長野県版運動プログラム
- キャリア教育の推進
 - ・ 中・高校生の職場体験、就業体験活動を充実
- 高等教育の充実
 - ・ 大学間連携や産学官協働、県立4年制大学の設置
- 地域に開かれた多様な公立学校
 - ・ 信州型コミュニティスクールの構築
 - ・ 学校評価、授業公開の充実
 - ・ 人口減少期の小・中学校のあり方について市町村と検討
- 教員の資質能力向上
 - ・ 教員の倫理向上等に関する行動計画の策定・実行
- いじめ・不登校対策
 - ・ 「いじめ等学校問題支援チーム」の設置
- 特別支援教育の充実
 - ・ インクルーシブ教育システムの構築
 - ・ 特別支援学校全体のあり方検討と教員配置等教育環境の充実
- スポーツの振興
 - ・ 国際大会・全国規模大会での選手の活躍に向けた競技力向上

【信州教育スタンダードの推進】

長野県らしい教育の姿として、県民の共感を得て推進したい「守りたい教育の伝統」、「維持・充実したい教育活動」、「実現したい教育目標」を具体的に明示

■ 少子化が進行する中、地域の将来を担う子どもたちにとって何が必要なのかの観点から、地域に根ざした教育を進めるために、市町村と県が連携して取り組んでいく。